

## 4 産業振興・雇用創出

4-1 観光を基軸とした産業振興

4-2-1 阿智の特色を生かした農業振興  
(農業の振興)

4-2-2 阿智の特色を生かした農業振興  
(有機活用農業の推進)

4-3 里山の風景を残す林業振興

4-4 地域に根差した商工振興

## 4-1 観光を基軸とした産業振興

[地域経営課 商工観光政策・環境政策・経営企画係]

### 施策目標 10年後の阿智村を見据えて

リニア中央新幹線の開業、三遠南信自動車道の全線開通による新しい高速交通時代を見据え、昼神温泉を中心とした観光業の振興により、交流人口の拡大を図るとともに、観光業と住民・各産業を有機的に連携させることで産業を振興し、雇用の創出による人口増、若者定住を図り持続可能な村づくりをめざします。

### 現状と課題

阿智村は飯伊地域での観光消費額において、その半分以上を占める一大観光地となっています。しかしながら、核となる昼神温泉は通過型温泉地の色合いが強く、村内への波及効果は決して大きなものとはなっていません。また、2012（H24）年度よりスタービレッジ事業により、阿智村は星の村として広く認知されるようになりましたが、観光客を滞留させるための各産業と連携する仕組みが求められています。2017（H29）年には、国が推進する観光による地域づくりに取り組む、日本版DMO法人に（株）阿智昼神観光局が登録され、地域内のマーケティング、マネジメントに取り組んでいます。村内観光地巡り、地元農産物の有利販売、また昼神温泉郷での地産地消など様々な取り組みが行われてきましたが、関係者相互の十分な連携には至っていません。村と関係機関が連携し観光業と各産業、地域を網の目のように紡ぐ仕組みづくりが求められています。

また、基幹産業の観光を取り巻く環境は大変厳しく、温泉地のまちづくり、観光産業の活性化、各産業を結びつけ、雇用の創出を目指していくための取り組みが必要です。

#### ○観光地利用者数・消費額の状況【長野県「観光地利用者統計調査」】

(単位:千人・百万円・%)

市町村	2010年度			2016年度		
	利用者数	消費額	割合	利用者数	消費額	割合
阿智村	1,332	5,401	53.0	1,219	5,042	51.2
うち昼神温泉	728	4,291	42.1	620	3,753	38.1
飯田下伊那	3,881	10,192	100.0	3,855	9,841	100.0

## 施策の基本方向

(1) 観光と農林業・商工業が連携して事業を展開します。

施策の展開	取組内容
① 日本版DMO登録による観光地域づくりと産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>○(株)阿智☆屋神観光局の日本版DMO法人登録により、村全体の観光をマネジメントする組織として支援し、観光による地域づくりを図ります。</li> <li>○観光地としての村全体の意識の醸成を進めます。</li> </ul>
② 効果的な告知戦略と地域商品力の品質強化・ブランド継続への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○(株)阿智☆屋神観光局が中心となり、魅力ある観光地づくりや効果的な誘客対策・情報発信を行います。</li> <li>○「日本一の星空」「花桃」「屋神温泉」などの品質向上、ブランド力強化と環境保全を図るため、村全体へ波及する取り組みを進めます。</li> </ul>
③ 観光を基軸とした、農林業、商工業との連携による事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○この地域を訪れる人を増やすための地域の魅力づくりを、観光が基軸となり農林、商工業と連携し、産業の発展と事業継続を図ります。</li> </ul>

(2) 阿智村への人の流れをつくります。

施策の展開	取組内容
① リニア中央新幹線、三遠南信道を見据えた産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リニア中央新幹線の開業、三遠南信自動車道の全線開通による新しい高速交通時代を見据えた、新産業の創出、地域産業の高付加価値化、魅力ある観光地づくりを支援します。</li> </ul>
② 広域での観光連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県、南信州、三遠南信、木曾、中津川、等と広域的に行う観光連携に取り組みます。</li> <li>○長期滞在を目指し、上下伊那での積極的な観光連携を図ります。</li> </ul>
③ 公共交通機関の利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共交通の充実への働きかけをします。リニア長野県駅、岐阜県駅からの2次交通の整備に取り組みます。</li> <li>○屋神温泉郷内での自動運転車による交通手段導入の研究をします。</li> </ul>
④ インバウンド※の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インバウンド誘致に取り組みます。</li> <li>○訪日外国人旅行者が安心して快適に滞在することができる環境整備(全村への英語表記のサイン等)の研究を行います。</li> </ul>

※インバウンドとは外国人が訪れてくる旅行のこと。

(3) 域内消費の仕組みづくりを行います。

施策の展開	取組内容
①温泉での地元産品の消費拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昼神温泉郷内を観光客が歩いて散策できるまちづくりを進めることにより、地元産品を観光客や村民が気軽に購入できる場の創出に取り組みます。</li> <li>○産業振興公社と連携し、地域産品の消費を推進します。</li> </ul>
②村内各地域の資源を活かした観光連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○山岳や高原、キャンプ・スキーなどのアウトドア、古代東山道や中馬街道などの歴史観光、農家民泊やリング狩りの体験など、地域の資源を活かした取り組みを支援します。</li> <li>○各地域の観光資源を活かし昼神と連携した魅力アップを行い、訪れる人の目的(星空、花、イベント、文化、写真 等々)に沿った地域資源の発信に取り組みます。</li> <li>○阿智村の良さを村民が理解し、観光客にPRできるようなイベントや情報発信を行います。</li> </ul>

### 成果指標

指標名	基準値 (基準年)	目標値(2022)	備考
観光地利用者数(阿智村)	1,219千人 (2016)	1,250千人	長野県観光地利用者統計調査
観光消費額(阿智村)	5,042百万円 (2016)	5,200百万円	長野県観光地利用者統計調査

## 4-2-1 阿智の特色を生かした農業振興（農業の振興）

[建設農林課 農政係]

### 施策目標 10年後の阿智村を見据えて

村の基盤産業を支えるすべての農業者が元気に活躍し、生きがいと誇りを持てる村をめざします。

### 現状と課題

全国的に単身世帯、共働き世帯の増加や生活スタイルの変化等により、消費者が農畜産物に求めるものが多様化しており、それぞれの志向に合わせた生産、販売が必要になっています。産業振興公社では、農産物の有利販売の販路を開拓してきました。

高齢化、獣害による耕作意欲の低下等により、これまで農業を支えてきた世代の離農や経営規模の縮小が進み、農業生産力の低下や産地の衰退により耕作放棄地の増加などが懸念されます。

このため、IUターンによる就農希望者、定年退職者の就農や、専業農家や農地の保全に努めている兼業農家も含めた農業全体の支援が必要です。

### 施策の基本方向

(1) 遊休農地の発生防止に努めます。

施策の展開	取組内容
①遊休農地を減らし、発生を防止する活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中山間地域等直接支払事業、多面的機能支払事業等、国・県の制度を普及・活用し集落全体で農地の保全に努め、将来において地域の中心となる集落営農の組織化、法人化を推進します。</li> <li>○村の補助制度を充実させ、遊休荒廃農地の復旧・復活を支援し、復旧された農地への振興作物の栽培を推奨します。</li> <li>○農業の大切さを教える教育に取り組みます。</li> <li>○有害鳥獣による被害の軽減に取り組みます。</li> </ul>

(2) 担い手の育成を農業関係団体、関係機関と連携し推進します。

施策の展開	取組内容
① 担い手の育成支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農地有効利用相談員がコア(核)となり農業委員、農地利用最適化推進員と協力し農地の出し手と借り手の情報を共有しながら、計画的な担い手への集積・集約に努めます。</li> <li>○ 国の農業次世代人材投資事業や村の貸付制度を利用し、農業後継者を育成します。</li> <li>○ 認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織など制度の普及に努め、リーダーの確保、新規就農者や組織の経営安定を図ります。</li> </ul>
② 生産者支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 振興作物(きゅうり、アスパラ、トマト、パプリカ等)を栽培する農業者への支援を充実させ産地化と規模拡大を図ります。</li> <li>○ 大豆・そばの生産面積拡大と良質化、作業の効率化そして産地化を目的に、コンバインと乾燥機等必要機械の購入と設置保管場所の建設について研究します。</li> <li>○ 畜産農家の担い手確保につながる支援を充実強化します。</li> </ul>

(3) 地域資源を活かした農業の振興をめざします。

施策の展開	取組内容
① 地産地消(地消地産)の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農業と観光等他産業が、タイアップ(協力・提携・結びつき)して、新しい企画への取組を実施します。</li> <li>○ 地産地消(地消地産)が容易に可能な農産物生産への研究と取組を実施します。</li> </ul>
② 農業・農村基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 村単土地改良事業により、地元施行で農業基盤の整備を行い維持管理費の軽減をめざし、耕作放棄地の拡大を防ぎます。</li> </ul>

### 成果指標

指標名	基準値 (基準年)	目標値(2022)	備考
農業産出額	8.8億円 (2015)	9億円	
遊休農地の再生	5.3ha	8ha	
認定農業者	35経営体	45経営体	

## 4-2-2 阿智の特色を生かした農業振興

### (有機活用農業の推進)

[建設農林課 農政係]

#### 施策目標 10年後の阿智村を見据えて

阿智村認証農産物の安定生産と有利販売を推進することで、誇りや生きがいを持って農業に取り組み、生活が成り立つ農業従事者の増員をめざします。

#### 現状と課題

農業従事者の高齢化に伴う遊休農地の増加と生産力の低下が課題です。

有機活用農業の実践組織である阿智村産業振興公社が中心となり、認証農産物のブランド化を推進し、コープあいち、市場、阿智PAやさい村、中津川市等でも販売実績を上げてきました。

阿智村ならではの農業システムを一層充実・発展させ、村内農家の収入安定により遊休農地の発生防止と生産量の減少を食い止める施策強化が必要です。

担い手育成と有利販売に向けて、より一層の事業拡大が必要となります。

2010（H22）年に設立された産業振興公社が、有機活用農業の実践組織として発展的な活動を続けています。

有機活用農業振興会の会員は、阿智村認証農産物の生産に精力的に取り組んでいます。

消費者の皆さんにもこの認証農産物の価値を理解していただき、中京圏のコープ、市場、阿智PAやさい村、中津川市等でも販売実績を上げてきました。

生産者は有利な品目の個別作付けを推進することで、一度は生産をあきらめていた高齢の生産者が廃業を踏みとどまり、生産を続けている状況もあります。

しかし、全体的な担い手不足と高齢化による生産力の低下は明らかであり、今後5～10年後の認証農産物を生産することができる担い手を考えたとき、現在行われている事業の継続のみでは生産量の減少を食い止めることはできません。

担い手育成と有利販売に向けて、より一層の事業拡大を図る必要があります。

## 施策の基本方向

(1) 有機活用農業実践者の確保をめざします。

施策の展開	取組内容
①有機活用農業実践者の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的別生産者の確保を進め、新規専業農家の確保と既存農家の継続推進を行います。</li> <li>○年間出荷額100万円をめざす、新規いきがい農家の確保と既存農家の継続推進を行います。</li> <li>○後継者育成事業により担い手農家の育成を行います。</li> </ul>

(2) 認証農産物の有利販売と販売拡大に取り組みます。

施策の展開	取組内容
①認証農産物の有利販売と販路拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集出荷直売施設設置に向けて委員会による研究を行い方向付けをします。</li> <li>○観光組織との連携により、観光事業とタイアップして販路開拓をします。</li> <li>○特産品開発に取り組みます。</li> </ul>

(3) 完熟堆肥の安定供給および有効活用の推進をします。

施策の展開	取組内容
①完熟堆肥の安定供給および有効活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○優良堆肥の安定供給対策として、「あち有機生産組合」への支援を継続します。</li> <li>○有機活用農業実践者に対する堆肥購入補助を継続します。</li> <li>○堆肥成分検査および臭気検査費用を補助します。</li> </ul>

(4) 後継者育成事業を充実させます。

施策の展開	取組内容
①後継者育成事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業関連教育機関との連携等による農業体験の実施及び定住促進事業との連携により、就農研修生の確保を行います。</li> <li>○県主催の新規就農相談会や企業主催の就農相談会等へ参加し、研修生の確保を行います。</li> <li>○帰農者や女性向けの栽培研修会の開催をします。</li> <li>○公社の雇用による研修事業を検討します。</li> </ul>

(5) 栽培指導力の強化に努めます。

施策の展開	取組内容
①栽培指導力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社員に信頼される技術員の育成、確保により、農家の生産力をアップします。</li> <li>○経営指導力のある人材育成と専門知識力の強化に努めます。</li> <li>○農業法人設立に向けた研究を行います。</li> </ul>

### 成果指標

指標名	基準値 (基準年)	目標値(2022)	備考
認証農産物販売金額	96,649千円	150,000千円	
認証農産物生産者	172人	250人	
担い手育成	2人	6人	後継者育成事業研修 終了生 4人

## 4-3 里山の風景を残す林業振興

[建設農林課 林務係]

### 施策目標 10年後の阿智村を見据えて

豊富な森林資源と、里山のもつ多面的機能を最大限に活かし、明るく風通しのよい健全で持続可能な山林づくりをめざします。

### 現状と課題

材価の低迷と所有する山林が小規模分散化し採算性が悪いことや、所有者の高齢化と不在村化や世代交代後の山離れにより森林の適正な管理が行われず、森林が持つ多面的機能が十分に発揮されない状況が増加しています。加えてニホンジカなど有害獣の増加により人工林における獣害が深刻化している中、木材の需要は、全国的には建築材をはじめ、エネルギー資源として需要が増加しているため、これに対応できる低コストで安定した資源の供給体制整備を行うには、森林整備・保全や搬出を行うための林道や作業道の整備と、土地の境界明確化も必要となっています。

また、地域内での資源循環の仕組みをつくるための組織づくりや、後継者育成につながる木育活動なども積極的に推進する必要があります。

### 施策の基本方向

(1) 森林の持つ多面的機能が十分に発揮される森林整備を進めます。

施策の展開	取組内容
①健全で災害に強い森林整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森林税を活用した事業や森林造成推進事業による森林整備を推進します。</li> <li>○効率的な施業のための集約化を推進します。</li> <li>○広葉樹林の育成推進をします。</li> </ul>

(2) さまざまな用途への森林資源の利用を推進します。

施策の展開	取組内容
①木材の多用途な利活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未利用材の有効活用の推進をします。</li> <li>○薪の青空市を定期的開催し、薪ステーション設置をめざします。</li> <li>○安定的な木質バイオマス利用のための仕組みづくりを推進します。</li> </ul>

(3) 基盤整備により地域内の資源循環を推進します。

施策の展開	取組内容
①路網整備と境界の明確化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境、安全に配慮した低コスト搬出のための基盤整備を推進します。</li> <li>○境界不明確な森林の解消を推進します。</li> </ul>

(4) 森林の適正な管理と、野生鳥獣の被害対策に取り組めます。

施策の展開	取組内容
①有害鳥獣による被害の軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>○有害鳥獣による被害の軽減に取り組めます。</li> <li>○新規従事者の確保を推進します。</li> <li>○有効な被害対策の研究を行います。</li> </ul>

(5) 林業関係団体へ育成支援を進めます。

施策の展開	取組内容
①関係団体の活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○木材の有効利用を研究、実践する団体を支援します。</li> <li>○木育活動(後継者やあらゆる住民を対象とした山を守り続ける為の学習活動)を進めます。</li> </ul>

## 成果指標

指標名	基準値 (基準年)	目標値(2022)	備考
間伐面積	100ha (2016)	200ha	
素材生産量	6,125 m <sup>3</sup> (2016)	10,000 m <sup>3</sup>	
林道等路網開設済延長	4,571m (2016)	10,000m	
森林経営計画作成済面積	5,802ha (2016)	8,000ha	
薪の青空市開催	1回/年 (2016)	4回/年	
薪ステーション設置	0ヶ所	1ヶ所	
境界明確化実施済面積	0ha (2016)	300ha	

## 4-4 地域に根差した商工振興

[地域経営課 商工観光政策・環境政策・経営企画係]

### 施策目標 10年後の阿智村を見据えて

厳しい経営環境の中でも、地域住民の生活を支え、地域に根差した商工業の経営を持続発展させ、新規事業の起業等により、持続可能な村づくりを進めます。

### 現状と課題

地域経済を担う中小企業は世界の急激な変化に対応しつつも、確たる技術力とスピード感を持ち地域の経済・雇用・文化を守っています。しかし、消費の好転はいまだ見いだせず、中小企業を取り巻く環境は依然厳しいものがあります。

村の商業、サービス業においても、少子化や核家族化等による消費者ニーズの多様化やアップロードを中心とした大型店の増加、低価格志向等により厳しい経営環境に置かれています。ふくまるくんカードや、住宅リフォーム補助、商品券事業等を行い消費喚起に取り組んでいますが、依然として厳しい状況は変わりありません。

製造業においても、積極的な動きや短期的な景況感の好転の声も聞かれるものの、厳しい状況に変わりありません。

高齢者の増加など時代のニーズに対応したサービスの提供や、賑わいのあるまちづくりなど、地域に根ざし、地域の暮らしを支える産業である商工業を振興することが必要です。また、観光で訪れるお客さんの消費を誘導する仕組みづくり、予定されている大規模な公共的事業に伴う受注について検討もしなくてはなりません。

今後も商工団体等との連携による商工業者の経営革新支援、創業支援事業計画に基づく若者、女性を中心とした新規創業支援を行うことが必要です。

商業の推移（商業統計・2012年経済センサス-活動調査）

年次	事業所数	従業員数	商品販売額	
2007年	97	361人	4,599百万円	
2012年	74	272人	3,622百万円	
2014年	77	320人	4,023百万円	

工業の推移（工業統計）

年次	事業所数	従業員数	製造品出荷額等	
2005年	26	705人	16,089百万円	4人以上の事業所が対象
2010年	25	524人	8,347百万円	
2014年	24	795人	15,505百万円	

## 施策の基本方向

(1) 経営力向上、経営革新の推進を行います。

施策の展開	取組内容
①経営支援、金融支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○融資斡旋事業、起業支援資金の有効活用を進めます。</li> <li>○商工業者への経営指導事業に取り組みます。</li> <li>○地域産業の特色を活かした、新たな雇用の創出をめざします。</li> </ul>

(2) 地域に根差した商店街づくりにより地元消費を進めます。

施策の展開	取組内容
①地域に根差した商店づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消費者の視点に立ったサービスを推進します。</li> <li>○地域コミュニティの場としての商店経営を支援します。</li> </ul>
②地域内消費の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ポイントカードふくまるくんの利用推進を支援します。</li> <li>○巡回バス、デマンドタクシーでの買い物の、満足度を上げるための取り組みが必要です。消費行動につながるインセンティブ(住宅リフォーム補助 商品券事業 等)を随時研究します。</li> </ul>
③公共事業等の受注を検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の工事に伴う村内業者の受注について積極的に取り組みます。</li> </ul>

(3) 観光客による村内消費の活性化を進めます。

施策の展開	取組内容
①観光と連携した消費の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光客の村内店舗への誘導を推進します。</li> <li>○特産品の研究を進めます。観光客が買い求めやすい地元産品の研究を進めます。</li> <li>○観光との連携により、相乗効果をめざします。</li> </ul>

(4) 将来につながる産業の育成を行います。

施策の展開	取組内容
①企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リニア開業、三遠南信道全線開通などにより、首都圏、中京圏へのアクセスが飛躍的に良くなることを見据えた企業誘致に取り組みます。</li> <li>○新たな工場用地の調査・確保に努めます。</li> </ul>
②創業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○創業支援計画に基づき、新規創業の支援を行います。</li> <li>○村独自の創業(起業)支援の施策を検討します。</li> </ul>
③既存企業の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既存企業へのヒアリングなどにより、事業環境の整備を検討します。</li> <li>○事業承継による事業の持続について支援を検討します。</li> </ul>
④社会環境の変化に対応した事業の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リニア・三遠南信自動車道による地域産業の発展的な見通しの検討を行います。</li> <li>○グローバル化の進展、移動の高速化、様々な事象の高速化・高度化への対応を支援します。</li> </ul>

### 成果指標

指標名	基準値 (基準年)	目標値(2022)	備考
商業従業員数	320人 (2014)	350人	
工業従業員数	795人 (2014)	850人	